

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2021年2月3日

事業所名: たんぽぽひろば

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員に応じたスペースは確保できているが、活動内容によっては十分でないこともある。	はい93%、どちらともいえない7% いいえ0%、わからない0%	活動内容に応じて、活動場所に移動等、必要に応じて対応する。
	2 職員の適切な配置	基準以上の配置ができている。利用児の状態でフォローが必要な時に対応している。	はい78%、どちらともいえない18% いいえ0%、わからない4%	常時、フォローの職員が配置できるようにする。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	施設はバリアフリー。部屋入口に絵カードを表示し部屋の名前をわかりやすくしている。個別には写真表示することもある。	はい100%、どちらともいえない0% いいえ0%、わからない0%	靴を着脱するための椅子の改善。手すりを充実させる。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日、清掃場所を当番制にしている。月1回は重点箇所を決めて清掃している。	はい85%、どちらともいえない0% いいえ0%、わからない15%	不備を確認したら早急に対応する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	法人の人事評価制度に則り、年に2回行っている。		人事評価をする側のスキルもアップしていく。人事評価に掲げた目標を達成できているか細目に確認していく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	受審していない。		来年度、受審したい。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月1回の職員会議に合わせ、内部研修を実施している。外部研修へも積極的に参加している。		職員が希望する研修に参加できるよう、職員間でできる限り調整する。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	職員の入れ替わりにより、昨年の様子を理解するため、職員間で課題を共通認識する会議を行い、課題を客観的に分析しにくい。	はい96%、どちらともいえない4% いいえ0%、わからない0%	昨年の記録や職員間の伝達により、ニーズや課題を共通理解し、計画の作成を行う。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	できている。子どもに応じて異なる個別活動と集団活動の中でも異なる視点に着目して計画を作成している。	はい100%、どちらともいえない0% いいえ0%、わからない0%	今後も更に内容を充実させていく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	数名の職員で様々な角度から子どもの様子検討し、子どもに適した計画を作成し、具体的な支援内容を記載している。	はい96%、どちらともいえない4% いいえ0%、わからない0%	今後も継続していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	必要に応じて、支援計画に沿った支援になっているか見直している。	はい100%、どちらともいえない0% いいえ0%、わからない0%	見直す時期については、定期的にするこ に加え、各自に合わせて行うようにしていく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	常に話し合いをもって取り組み、プログラム立案会議を実施している。	—	引き続き実施していく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は授業終了に合わせてサービスを開始し、休日、長期休暇は10時～16時のサービス提供時間に行っている。休暇中の個別の利用時間については対応している。	—	必要に応じて対応していく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	プログラムを立てる時に、過去の活動を照らし合わせるようにしている。	はい93%、どちらともいえない7% いいえ0%、わからない0%	さらに良い方法がないか検討していく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎回実施している。		引き続き徹底していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	終了直後や記録記入の際に、良かった点や反省点、今後に向けての話し合いをしている。		引き続き徹底していく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日記録している。必要に応じて検証、改善をおこなっている。		引き続き徹底していく。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	している。		引き続き徹底していく。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	担当者が必ず出席している。		今後も適切な対応をする。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	引き継ぎのための会議に出席し、情報提供を受けている。その他必要と思われる子どもについては、適時連絡をとるようにしている。		今後も適切な対応をしていく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	必要があれば対応する。		積極的に取り組む。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて連絡をとっている。研修があれば積極的に参加している。		積極的に取り組む。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	小学校との交流行事を行っている。	はい32%、どちらともいえない46% いいえ15%、わからない7%	新型コロナウイルスの感染拡大が収束した際は、積極的に実施していく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域のクラブや日本語学校などとの交流を計画している。		新型コロナウイルスの感染拡大が収束した際は、積極的に実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	特に利用開始時は説明の用紙を用いて丁寧に説明している。その都度、必要に応じて説明を行っている。	はい93%、どちらともいえない7% いいえ0%、わからない0%	問い合わせがあれば丁寧に対応していく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書を示しながら口頭でも説明し理解していただいた上でサインをもらっている。	はい100%、どちらともいえない0% いいえ0%、わからない0%	全員にできているか職員への確認をし、抜けていないか徹底していく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	講演会は実施していないが、外部からの案内はお知らせしている。	はい53%、どちらともいえない0% いいえ0%、わからない47%	保護者へ希望を聞き取り、検討していく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日々の活動終了時に内容の報告をし、気づいた点や気になる点、今後の取り組み等について話している。	はい92%、どちらともいえない4% いいえ0%、わからない4%	今後も徹底していく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要に応じて対応している。	はい57%、どちらともいえない39% いいえ0%、わからない4%	適切な対応や助言ができているか、見直しや検討をする機会を持つ。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	特に父母会としての活動はしていない。待ち時間等、グループ内で自発的な交流はある。	はい7%、どちらともいえない47% いいえ36%、わからない10%	保護者会については実施できるよう検討する。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	個人情報保護規定に則り、苦情検討委員会を開催する。	はい60%、どちらともいえない40% いいえ0%、わからない0%	今後も苦情内容に応じて対応していく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	特性に合わせて対応している。	はい82%、どちらともいえない14% いいえ0%、わからない4%	より良い配慮に向け考えていく。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月に1回、通信紙を発行。ホームページ上にもアップしている。月の中旬に翌月の活動内容や行事予定を発信している。	はい90%、どちらともいえない10% いいえ0%、わからない0%	ホームページでの活動報告の内容を充実していく。活動の予定を正確に伝えるための方法を検討している。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	している。	はい100%、どちらともいえない0% いいえ0%、わからない0%	今後も常に意識し慎重に取り組んでいく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルの策定はしているが、保護者への周知徹底は不十分である。	はい78%、どちらともいえない14% いいえ4%、わからない0%	保護者への周知を通信紙等で行う。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	消火訓練、通報訓練を実施。簡単な避難訓練を実施。	はい43%、どちらともいえない53% いいえ4%、わからない0%	それぞれの利用児に応じた配慮をしながら、段階的に避難訓練等を実施していく。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	職員に虐待チェックリストを配布し実施している。		今後も確保していく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、対象となる利用児がいない。		必要となった場合は適切に対応する。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現在、対象となる利用児がいない。		—
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	必要に応じてヒヤリハット報告書を記入し、検証している。日常的に口頭でヒヤリハットがあれば情報共有している。		些細なヒヤリハットでも報告書に記入し、検証数を増やし、事故の防止に努める。